

- ✓ 新年のごあいさつ
- ✓ マツ六の「遮断機式手すり」が
経済産業省「+（プラス）あんしん」受賞！
- ✓ 作業療法士からみた生活改善
- ✓ 建築から見るデザイン紀行

謹賀新年2026

旧年中は格別のお引き立てを賜り
誠にありがとうございました
本年もよろしくお願いいたします



年賀ムービーを公開！

新年のごあいさつとして、マツ六Webサイトにて
年賀ムービーを公開しています。ぜひご覧ください。
※年賀ムービーは1月1日からご覧いただけます。

▶▶▶ <https://www.mazroc.co.jp/>



マツ六の 遮断機式手すり が 経済産業省の新制度

+ あんしん を受賞！

+（プラス）あんしん とは

「誤使用・不注意による製品事故リスクを低減した製品に対する表彰・表示制度（+あんしん）」とは、経済産業省が「製品安全対策優良企業表彰」（PSアワード）の製品部門として令和7年度から新たに設けた制度であり、今回が第1回目となります。

「+あんしん」は事業者と消費者のリスクコミュニケーションを促進し、安全な製品選択を支援する環境整備、市場での安全性を差別化要素とすることで、事故の減少を目的としています。同制度では、特定の誤使用・不注意の防止対策が講じられた製品について、そのリスク低減状況を評価し、効果が認められた製品に「+あんしんマーク」表示が付与されます。

遮断機式手すり について

当社の「遮断機式手すり」は、開口部の前や通路の横断など手すりが途切れてしまう箇所でも、開閉式にすることで行きたいところまで手すりをつなげることを目的とした製品です。今回の受賞では、手を離しても急落下を防ぐ機構により、怪我のリスクを低減できる点を評価していただきました。これにより、日常の「うっかり」にも配慮した高い安全性が公的に認められたことになります。



うっかり手を離しても
急に倒れてこないから
あんしん！



詳しくは
こちらをご覧ください▶



<https://www.mazroc.co.jp/info/2053/>

当社は、すべての方に「あんしん」して製品をご利用いただけるよう、今後も更なる製品安全の向上を目指し尽力して参ります。

介護者の負担を軽減する住宅改修

社会・生活環境研究所
作業療法士
二級建築士

山田 隆人



「老老介護」という言葉が使われるようになってから、かなりの時間が経過しました。老老介護の実態を示す調査では、主介護者（介護を行う中心の人）の約6割が後期高齢者であり、8割以上が配偶者であること、さらに約4割の世帯において別居の家族から支援がなく、主介護者の4割以上が何らかの健康不安を抱えながら介護を継続している、という報告があります（図1）。



図1) 老老介護の介護者

住宅改修を行う際には、被介護者の生活機能の向上や活動範囲の拡大を目標とすることが一般的です。しかし、老老介護の主介護者の状況を考えると、介護者（介護する側）自身の負担を軽減することを目的とした改修が必要になる場合も多くあります。では、具体的にどのようなものがあるのでしょうか。

ある調査によれば、住宅改修を行った介護者に対して、以下のような効果が報告されています。

●介護者の身体的負担軽減の効果:「床材の変更」、「段差の解消」

●介護者の精神的負担軽減の効果:「床材の変更」

住宅改修の目的を「介護負担の軽減」としていた事例では、目的としない改修内容と比較し、「手すりの取り付け」、「床材の変更」において精神的

負担軽減、「段差の解消」において身体的・精神的負担の軽減が見られたとしています。以上から、介護者の負担軽減に対し明確な目的意識を持ち住宅改修を行うことが、介護負担軽減に有効であるとしています（図2）。

さらに、住宅改修において、改修に携わった関連職の数が1名だけであった場合と比較して、2名・3名の方が身体的・精神的負担の軽減につながることが示されています。また、医療職が改修に携わることで身体的・精神的介護負担の軽減につながるともしています。

このことから、住宅改修を検討する際には、多数の関連職の参加、さらに医療職など加えることで、多様な視点から改修内容の検討が可能になり、被介護者・介護者にとって求める成果が得られることにつながると考えます。以上のことを踏まえると、多職種との意見交換の場を設ける、意見交換の場面で求められる資料などの収集・作成を行うことが、目的とする住宅改修の成果を出すための仕事になるかもしれません。

参考文献

1) 堀田和司, 奥野純子, 深作貴子, 柳久子:老老介護の現状と主介護者の介護負担感に関する要因, 日本プライマリ・ケア連合学会誌, 33(3), 2010

2) 橋本翔也, 崔熙元:介護保険制度による住宅改修が介護者にもたらす効果に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 90 (831), 2025



図2) 段差の解消・床材の変更が介護者の負担を軽減

建築から見る

デザイン紀行 11

～過去から現在そして未来へ～

名勝 仙巖園
(鹿児島県・鹿児島市)



仙巖園は、万治元年(1658)島津家19代光久によって築かれ、桜島を一望できる庭園や薩摩藩・島津家に関する資料・文化財が展示されている尚古集成館、御殿などが敷地内にあり、一帯は世界文化遺産に登録されています。



私が仙巖園を訪れたのは、10月の半ば。さすが鹿児島というべく、太陽の当たり方が関西とはまるで違い、まだまだ真夏日でした。



各部屋の長押しには、長押しにうった釘を隠すための「釘隠し」と呼ばれる装飾金物が取り付けられ、どの部屋も違ったモチーフの釘隠しが配されています。釘隠し自体は小さいため、見逃してしまうようなものではありませんが、そういった細部にまでも抜かりなく、趣を凝らす先人たちの美意識に脱帽です。

御殿建築の中央、中庭には池があり、その池を取り囲むように回廊が配されています。各部屋をつなぐ廊下には様々な窓があり、その窓の切り取り方にも日本の奥ゆかしい美を感じます。また、幕末から維新後にかけては迎賓館として国内外の賓客を迎えたことから、西洋のインテリアを施した間があり、建物の一貫した美意識と色彩感覚で見事に「和」と「洋」を折衷していました。

御殿を取り巻く日本人の感性を最大限にいかした贅の尽くし方には、「豪華絢爛」という言葉が野暮なほど、落ち着いた趣がありました。この感性こそが、日本の文化的資源であり、未来へと受け継いでいくべきもののような気がしました。

庭園や御殿を見学していると優に数時間かかるほど、敷地内は広く、中でも特に趣を凝らした設えの御殿は、見ごたえがありました。

島津家の御殿様が暮らしとされている御殿にはいると、まず驚いたのが、廊下に畳が敷かれていること。ぜいたく品が並べられてあるといった贅ではなく、何気ない生活者への配慮、暮らしの質を高める工夫は、日本の簡素な美意識を感じさせます。



アプリも登録も不要!

MAZROC WebAR

スマホ
デモ機



手すりを 実物大で
バーチャル配置!

さっそくARで
手すりを
置いてみる▶▶



福祉住環境
コーディネーター
の答え: ④ 式台

Information
マツ六からのお知らせ

●12/27(土)～1/4(日)は年末年始休業とさせていただきます。

発行元: マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>
MAZROC 2601-1

